

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

- ①住宅に関して、新しい課題として有効な知見を得たもの（設計・計画事例研究を含む）で、原則として未発表のもの
- ②住宅に関して、大会学術講演会等で口頭発表したものを発展させたものや、何編かをまとめて一連の研究としたもので、まとまりのあるもの
- ③地域の住環境の向上、住宅系まちづくりに貢献した設計・計画事例などに関する研究報告

(2) 審査のスケジュール

◆応募登録

「建築雑誌3月号」誌上「第1回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。
2006年5月23日 締め切り。応募総数81題。

◆研究論文投稿

2006年7月7日 投稿締め切り。応募総数49編。

◆第一次審査

2006年7月11日～7月31日 査読員による審査

2006年8月4日 第一次判定会議開催。採用6編、再提出35編、不採用8編を判定。

◆再提出投稿

2006年9月6日 再提出締め切り。再提出32編、未提出3編。

◆第二次審査

2006年9月8日～9月19日 査読員による再審査

2006年9月25日 最終判定会議開催。採用32編を判定。第一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用38編、不採用11編。

(3) 審査の概要

◆第一次審査

投稿論文（49編）の審査員による判定結果は、「採用+採用」6編、「採用+再提出」19編、「再提出+再提出」11編、「採用+不採用」2編、「再提出+不採用」7編、「不採用+不採用」4編であった。このうち、「採用+不採用」論文2編、「再提出+不採用」論文7編の計9編について採否の審議を行い、2編の「採用+不採用」論文は2編とも再提出とし、7編の「再提出+不採用」論文は、3編を再提出、4編を不採用とした。以上の結果、採用6編、再提出35編、不採用8編とした。

◆第二次審査

再提出論文（32編）の審査員による判定結果は、「採用+採用」26編、「採用+不採用」6編であった。このうち、「採用+不採用」論文6編について採否の審議を行い、すべてを採用とした。また、再提出されなかった3編は不採用とし、これらの結果、49編の投稿論文は最終的に、採用38編、不採用11編となった。

(4) 査読組織

①幹事（五十音順）

碓田智子（大阪教育大）	神吉紀世子（京都大）
木内望（国土技術政策総合研究所）	鈴木雅之（千葉大）
高田光雄（京都大）	高見沢実（横浜国立大）
根來宏典（根來宏典建築研究所）	真野洋介（東京工業大）
安武敦子（駒沢女子大）	

②査読員（五十音順）

浅沼由紀（文化女子大）	石坂公一（東北大）	岩田俊二（三重短大）
上北恭史（筑波大）	碓田智子（大阪教育大）	大月敏雄（東京理科大）
大沼正寛（東北文化学園大）	大野敏（横国大）	大橋寿美子（湘北短期大）
岡絵里子（関西大）	岡部雅美（城建築設計事務所）	川本重雄（京都女子大）
木内望（前掲）	木多彩子（摂南大）	金俊豪（宇都宮大）
窪田亜矢（工学院大）	黒野弘靖（新潟大）	小林秀樹（千葉大）
齋藤広子（明海大）	定行まり子（日本女子大）	篠崎正彦（東洋大）
清水肇（琉球大）	志村秀明（芝浦工大）	鈴木雅之（前掲）
住谷浩（北海道工大）	高井宏之（三重大）	高田光雄（前掲）
高見沢実（前掲）	多治見左近（大阪市立大）	徳尾野徹（大阪市立大）
中島熙八郎（熊本県立大）	西村伸也（新潟大）	沼野夏生（東北工業大）
根來宏典（前掲）	野口孝博（北海道大）	初見学（東京理科大）
花里俊廣（筑波大）	伴丈正志（長崎総科大）	深沢大輔（新潟大）
藤本秀一（建築研究所）	真野洋介（前掲）	三国政勝（千葉大）
三橋伸夫（宇都宮大）	御船達雄（和歌山県文化財センター）	
森永良丙（千葉大）	森本信明（近畿大）	森保洋之（広島工業大）
安武敦子（前掲）	山崎寿一（神戸大）	吉田友彦（筑波大）